

龍谷大学教職員の皆さん向けに、ボランティア・NPO活動センターの活動をご紹介します情報紙です。教職員の皆さんにボランティア・NPO活動センターの活動を知っていただきたい！ボランティア活動に参加していただきたい！そんな思いを込めて、作成しています。

「身近な存在でありたい ～ボランティア・NPO 活動センター～」

■質問です。

「みなさんは、この1年の間にボランティア活動に参加されましたか？」

YES か NO でお答えください。

NO →ボランティアをはじめてみませんか？

きっと新しい自分に出会うことができます。

YES →ボランティア活動の幅を広げてみませんか？

きっと新しい世界に出会うことができます。

ボランティアの参加動機を大きく2つに分類すると、自分への見返りに関係なく他人のためにボランティア活動を行う「利他的動機(altruistic incentives)」と自己成長など自分に何らかのベネフィット(便益)があるためにボランティア活動を行う「利己的動機(egoistic incentives)」に分けることが可能であるといわれています。

そのサポートをするために、龍谷大学ボランティア・NPO活動センターではこのような活動をしています。

- ① 多岐に渡るボランティア活動について、多くの学生や教職員に知ってもらい、はじめの一步を踏み出すお手伝いをする
- ② ボランティアに関心がある学生・教職員の思いやお話を伺うこと
- ③ ボランティアを必要としている地域や組織の方々のお話を伺い、情報を収集すること
- ④ みなさんを「つなげる」こと、そして笑顔を増やすこと
- ⑤ ボランティア活動の経験を、学生一人ひとりの主体的な学びに結び付けていくこと

2011年4月に設置された龍谷大学ボランティア・NPO活動センターも16年目を迎え、国際協力、災害復興、環境保全、まちづくり、子ども・青少年、社会福祉、スポーツなど、活動の幅も多岐に渡っています。そして、この多岐に渡る活動を、学生スタッフ、専門職のボランティアコーディネーター、事務職員、多彩な学識経験を有する教員たちが協力

し合いながら展開しています。

今年度も、たくさんのお力をお借りしながら、一人ひとり、一つひとつの活動を大切に続け、センターが学生、教職員、そして地域やさまざまな組織の方々にとって「拠り所」となり「身近な存在」となることを目指していきたいと思っております。

学生・教職員の皆さん、地域の皆さん、ぜひボランティア・NPO活動センターに気軽にお立ち寄りください。スタッフ一同、笑顔で心よりお待ちしております。



東日本大震災復興支援ボランティア活動
現地での交流の様子

ボランティア・NPO活動センター

センター長 松永敬子

春季 海外・国内体験学習プログラム 報告



福島県：仮設住宅にて避難者の方とお話



丹後地域：放置竹林の整備体験



インド共和国：アラーハーバードの母子保健活動見学

ボランティア・NPO活動センターでは、国内外でのボランティア活動等に関心のある本学学生に向けて、貧困・福祉・環境問題など様々な課題を抱える国・地域を訪れ、その現状に触れながら現地のNPO・NGOなどと交流を通じ、学生が異文化間における相互理解や共生を学ぶことを目的に「体験学習プログラム」を実施しています。

今回は、下表のとおり、国内体験学習プログラムを2企画、海外体験学習プログラムは1企画を実施しました。福島県のプログラムは社会学部 筒井のり子先生に、京都府丹後地方のプログラムは特定非営利活動法人 地球デザインスクールに、インド共和国のプログラムは公益社団法人 全国愛農会に、それぞれ引率いただきました。

参加した学生からは、「今回のプログラムで、支援する側、される側という関係を越えて共に考え、現実に向き合い続けることが大切だと思った。福島との繋がりを絶やさずにいたい。繋がりが、他人事を他人事では無くさせた。今、私は、福島について発信しなければ、という使命感を感じている。」(福島)、「日本の過疎化、第1次産業の衰退、少子高齢化は私たちの想像以上に日本の未来に支障をきたすことを、肌身で感じる事ができた。」(丹後)、「インドの人々の生活や街の様子を見ていく中で私の考えは変わった。農村は貧困に苦しんでいると思っていたが彼らには彼らのルールがあり、伝統を守って暮らしている、不幸だとは思っていない。彼らの価値観に触れ、彼らが作っていく社会の先には持続可能に発展できる未来があるのではないかという期待が大きくなった。」(インド)という声が聞かれました。

本プログラムは2016年度も継続して実施致します。詳しくはセンターまでお問い合わせください。

	テーマ	訪問地	期間	人数
国内	福島スタディツアー ～福島の「今」を見、福島を生きる人々の「言葉」を聴き、そして「自分」を見つめる～	福島県	2016年2月22日～2月25日 4日間	15名
	丹後に出会う ～地域資源(人・自然・歴史・文化)の活かし方～	京都府 丹後地方	2016年3月13日～3月16日 4日間	15名
海外	持続可能な暮らしと農業を考えるインドの旅	インド共和国	2016年3月1日～3月10日 10日間	5名

■ 春季体験学習プログラム報告会のご案内 ■

各プログラムに参加した学生が学んだことや感じたことを発表する機会として、合同の報告会を行います。教職員の皆さんも、ぜひ報告会にご来場ください。また、関心のある学生にも、ご案内のご協力をお願い致します。

日時：2016年4月19日(火) 17:45～19:45

場所：瀬田キャンパス 6号館プレゼンテーション室

学生スタッフの活動報告

ボランティア・NPO 活動センターでは、学生スタッフが教職員とともにボランティアコーディネーターやボランティアの啓発・促進のための企画・実施などの活動をしています。現在、深草・瀬田キャンパス合わせて、約 100 名の学生スタッフが活躍しています！

Oh!ガッツ！雄勝！～雄勝の今を伝えたい～ を実施！（深草）3/8～23

2011 年度から龍谷大学が継続して実施している、東日本大震災復興支援ボランティア活動。活動を通して石巻市雄勝町とご縁をいただき、参加した学生は雄勝が大好きになりました。もっと雄勝のことを学内で知名度を高めて、震災の記憶を風化させないようにと『Oh!ガッツ雄勝』というグループを立ち上げ、大学内で啓発活動をしています。今回は 3 月 11 日に合わせ『Oh!ガッツ雄勝！～雄勝の今を伝えたい～』の展示を深草キャンパス顕真館・和顔館で行いました。



学生ボランティアフォーラム

3/5

全国学生ボランティア交流見本市「アクションマーケット」に出展

国立オリンピック記念青少年総合センター（東京）で行われた、第 4 回学生ボランティアと支援者が集う全国研究交流集会（学生ボランティアフォーラム）に参加し、全国学生ボランティア交流見本市「アクションマーケット」に出展しました。50 人を超える方に当センターのブースに来ていただき、センターの活動や学生スタッフの活動など、情報交換することができました。

瀬田コミュニティ企画 「広げよう！瀬田コミュニティの輪」

「防災・減災 そなえパークの日 2016」に参画！（瀬田）3/13

龍大生と地域住民が相互に「地域住民同士のつながりの大切さ」を意識してもらいたいと考え、滋賀県営都市公園びわこ文化公園で行われた「防災・減災 そなえパークの日 2016」のイベントに参画！当日は 32 名（参加学生 10 名、学生スタッフ 22 名）がボランティアとして「ぼくの、わたしの防災バッグ」など 3 つのブースを企画・運営しました。



春合宿 開催！

（深草・瀬田）3/8～9

ボランティア・NPO 活動センターの学生スタッフが、2015 年度の活動をふりかえり、新年度の活動を考えるための春合宿を、深草はともいき荘、瀬田は彦根市荒神山自然の家にて、それぞれ実施しました。新年度の目標も決め、新スタッフを迎える体制もバッチリ！2016 年度、さらにパワーアップした学生スタッフに、ご期待ください。

学生のボランティア活動支援

～ゼミ・講義でセンターの活動を紹介します～

東日本大震災をきっかけにボランティアに関心を持つ学生が急増しました。しかし、残念ながらボランティアについて十分に準備をせずに活動する学生並びに、十分に理解されているとは言えない学生と多く接してきました。

学生時代のボランティア活動は、現場に足を運んで手に触れ、目で見て、耳を傾けるといった体験型の教育として、学生の成長を促してくれます。ぜひ、学生にボランティアについて正しく理解し、事故のないように活動してもらい、もっとボランティア・NPO活動センターを活用してもらいたいと考えています。

そこで、講義やゼミ(演習)で、ボランティア活動とボランティア・NPO活動センターの活動をボランティアコーディネーター(職員)が紹介します。

本学のボランティア・NPO活動センターが紹介するボランティア活動は、正課外活動であり、単位等として授業との直接的な関係はありません。しかし、ボランティア活動を行う中で学生が自ら問題意識を持ち、主体的に取り組んだときに生ずる感動、驚き、挫折、葛藤、後悔などのリアリティある体験が、学生の成長を促し、日常の学習にも大きな影響を与えると確信しています。

このため、今回ボランティア活動のきっかけ作りとして、講義やゼミ(演習)でボランティアについての説明と、当センターの活動紹介を行います。担当の先生で当センターの紹介をご希望の方は、当センターまでお申し込みください。

【活動の概要】

1. 内容

- (1) ボランティア・NPO活動センターの活動
- (2) ボランティアとは
- (3) ボランティア活動を経験するまで

2. 時間 30～90分(ご希望に合わせて実施できます)

- (一例) 30分: センター紹介、「ボランティアとは」(講義)
60分: 上記に質疑応答が入る
90分: 活動紹介、センター案内
(実際にセンターへ案内します)

3. 時期 通年(長期休暇中を除く)

※詳細についてはメール等で直接、調整させていただきます

※お申し込みは下記(センター事務局)まで、電話・メールにてお願いします



龍谷大学
RYUKOKU UNIVERSITY

Volunteer NPO Center News Letter

ボランティア・NPO活動センター通信 No.25

Volunteer NPO Center News Letter は
年4回発行。次回は7月頃発行します。

バックナンバーは <http://www.ryukoku.ac.jp/npo/>
をご覧ください。

発行責任者: 龍谷大学ボランティア・NPO活動センター センター長 松永 敬子
ホームページ: <http://www.ryukoku.ac.jp/npo/>、E-mail: ryuvnc@ad.ryukoku.ac.jp
SNS: Facebook: 龍谷大学ボランティア・npo 活動センター、Twitter: @ryuvnc
深草キャンパス: 〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町 67
内線 1490、Tel:075-45-2047、Fax:075-645-20646
瀬田キャンパス: 〒520-2194 大津市瀬田大江町横谷 1-5
内線 7252、Tel:077-544-7252、Fax:077-544-7261